



# YMCA

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
 大阪青年 発行: 錦織一郎 編集: 大阪 YMCA 広報室  
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
 TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297  
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年 2007 Jan. 1 Feb. 2 No. 591

2006年度大阪YMCA年間聖句

「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。」  
 (ヨハネの手紙1 4章7節)

## 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する動きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

## 2007年 平和に向かって

## 125年目の大阪YMCAと共に



にしごり いちろう  
 大阪YMCA総主事 錦織 一郎

「私はあなたを愛しています＝I Love You」 毎日必ず、私たちは関わりあう人々にこのことを伝えられるでしょうか。心の中でしか話さなかったり、行いだけで示そうとしたり、書きしるすことはできても、言葉を発することは難しいし、照れくさいと感じている人が多いのではないのでしょうか。

手をグーに閉じた状態から、親指を横に、人差し指と小指を立てて、中指とくすり指は閉じたままにして、自分の胸のあたりから相手に向かって手のひらを指し出します。このサインは、YMCA聴覚障がい青少年国際キャンプ(通称:HHキャンプ)だけで使われている「I Love You」という手話です。

1975年夏、HHキャンプは大阪YMCAと香港YMCAの協働で始められ、東アジアのYMCAを中心に広がり、31年間継続されてきました。各国から集まる聴覚障がいを持つキャンパーは、手話によってコミュニケーションを図ります。多様な文化や生活の違いを乗り越えて共同生活を創りあげていくキャンパーやボランティアが毎日必ず使う手話は「I Love You」です。HHキャンプに参加した全ての人々は、気負うことも、照れることも、遠慮することも無く、胸を張って「I Love You」を指し示します。話すことができる人には簡単に表現できないことを、湧き出る想いをこの手話で素直に表現します。そして、キャンプが終わり、それぞれの国での生活が始まっても、この手話を交わし関わった他国の友人のことを覚えて、「彼も彼女もあの国で懸命に生きているのだろう」と思いをはせ、生きていく励みにします。そして、YMCAは、このような行いと関わりを積み重ねることによって、平和を創りだそうとしています。

私たちは、「戦争の世紀から平和の世紀に」という希望をもって迎えた21世紀に生きて、すでに6年が経過しました。新しい世紀



になってから、むしろ激しい戦争は止むことがなく、毎日のように争いごとは繰り返され、テレビなどの映像から戦争をしても良いのだというイメージさえ抱いてしまいます。また、私たちが普段生活している場面でもかけがえのないのちが大切にされないで、それぞれが生きていること、生かされていることの意味に気づかない状態に陥っているようにも思えます。

今一度、身近な平和を創り出していくことに心をくだきましよう。「愛する」ことの全てを語れるとは思いませんが、「愛しています」と同じ意味で「今のあなたでいいのです」「あなたがいるから私も喜びます」と伝えたり、「あなたも私も今日が平和でありますように」と祈りながら「おはよう」「さよなら」を交わし合うことができれば、また、HHキャンプの手話を指し示して、互いの存在を受け容れあうことができれば、とても素晴らしく、嬉しいことです。YMCAはこのような人々が集まり、共に祈り、活動し、平和を創り出していく行いをする場でありたいのです。大阪YMCAが125年を迎える今年、HHキャンプは大阪で開催され、平和の手話「I Love You」が飛び交うこととなります。

新しい年2007年をYMCAに連なる多くの皆様方と希望をもって迎えらるることに感謝し、共に幸せと喜びを分かち合い、平和へ向かって歩んでまいりましよう。

## 地の塩

星はおのおの持ち場で喜びにあふれて輝き、その方が命ずると、「ここにいます」と答え、喜々として、自分の造り主のために光を放つ。(旧約聖書続編バルク書3章34節・35節)

▼右記の聖句は紀元前590年頃バルクという人物が、バビロニア帝国の首都バビロンに捕虜として強制連行されていたユダヤ民族に宛てて記した激励の手紙の一部である▼もう三千年も昔の話で恐縮だが、当時YMCA予備校の主任であった仙波漸主事に引率され、長野県にあるYMCA野辺山高原センターへ夏季合宿に同行したことがある。まだ大気もさほど汚染されてなく、山から見上げる夏の星座は見事であった。真夜中に一人草原に寝そべって輝く星空に見入っていた▼その後私は大都会の中心街に住んでいたせいかな夜空を仰いだ記憶があまりない。空気が汚れ一晩中ネオンに輝く都会から夜空が失せ去ったせいもある▼いざれにせよ、星は小さくとも光度も異なり、位置する場所も違う。しかし、一つひとつが与えられた場所で精一杯輝いている。星は大きさも場所も異なるがそれぞれに輝くとき、美しくも神秘的なパノラマを展開し私たちに魅了するのである▼さて、私たちのYMCAは時代の要請にこたえて、四つの法人を運営する組織体となった。私自身は社会福祉の分野で奉仕させて頂いているが、会員、スタッフ、参加者、そして高齢者から幼児まで、異なる私たちがそれぞれの場所で自分の光を精一杯輝かせるとき、私たちのYMCAは夜空に輝く一大星座となるでしょう▼新しい年が皆さんにとって光り輝く一年となるように祈ってやまない。(處)